

平成23年10月1日



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第23号

よちよちちゃん





子どもたちの健康面をサポートしていただいている石田小児科医院 石田明院長のインタビューをお伝えします。



【プロフィール】

- ・ 埼玉県出身
- ・ 秋田大学医学部卒
- ・ [石田小児科医院]
- 秋田市広面字蓮沼

「すっかり秋田県民です」と話す石田先生。

「親御さんの

“心配ごと”を取り除く・・・
それが子どもの
“安心感”へつながる」

①Q. 小児科医になったきっかけを教えてください。

A. 「子どもと接することに違和感がない」というのが一番の理由でした。

祖母が私に影響を与えた所が大きいと思います。幼いころから、祖母が近所の子どもたちの世話をしていました。そのせいか、物心が付いた頃には自分より幼い子どもと関わることに抵抗なく、スムーズに接することができていました。

②Q. 毎日、多くの患者さんと接する中で一番大切にしていることは？

A. 一つ目は、病気を正確に診断して見逃さないこと。二つ目は、診察は「楽しく、こわくなく」を心掛けています。

一人ひとりの子どものタイプに合わせて、無理なく診察するようにしています。普段はマスクをしているので、目だけで子どもたちに笑顔を伝える難しさを日々感じております…。

③Q. 診察を受ける時のポイントを教えてください。

A. 今、どんなことが心配なのかを話してほしいですね。

症状を伝えることはもちろん大切です。親御さんはどんな心配ごとを抱えているかを伝えていただきたいです。そのときに“心配”が解消されないと“不安”を軽減することができません。親御さんの不安を取り除くことが、お子さんの“安心”へと繋がっていくと思います。

④Q. 休日はどのように過ごしていますか？

A. 家族との時間を大切に。特に、子どもと一緒に時間を作っています。

子どもと過ごす上で、何か楽しみを共有できればと思い、「柿の木」を植えました。毎年楽しみが増える「実のなる木」の対敵はカラスです。来年も対策を立てなくては・・・

⑤Q. ベビーマッサージの教室に会場をお貸しされているとうかがいましたが・・・

A. 親子の触れ合いの大切さに共感しました。

最近、親が自分の子どもに上手く関わるできないということをよく耳にします。ここで行われる教室が、少しでも多くの親子に触れ合うきっかけとなってくれば嬉しいです。

石田小児科医院の外観



～インタビューを終えて～

安心して受診ができ、怖くないお医者さんを心掛け、マスクをしていることを気にしている先生は、私たちが感じているいつも優しく、穏やかな印象の先生のお人柄そのものでした。

石田先生、お忙しいところありがとうございました。

ぼんだ組

待ちに待った運動会。シーツをリサイクルして子ども達5人と職員3人の手形をプリントした応援旗を作りました。『選手宣誓』の練習もバッチリOK。

ぼんだ組、がんばるぞ！！



ひよこ組

「ワンワン」や「ニャンニャン」の絵本が大好きなIちゃん。今日も大好きな担当職員に絵本の読み聞かせをおねだり…。

ページをめくると、動物は何でも「ワンワン!」と言って指差します…あれれ?これは「ブーブウ」ブタさんだよ!



ことり組

ことり組の女の子3人組、年齢は違えどことおしゃれに関しては敏感! 髪の毛をとかしてもらったり、かわいいゴムで結んでももらったり、鏡の前でニッコリポーズ! そんな様子をミニカーに夢中の男の子は、横目でチラリ。でも、最後はみんな仲良く髪飾りの花が咲きました。



ぼんび組

日中の遊び場をリニューアル。寝室にソファーや滑り台、ままごとキッチン、畳スペースを入れて気分を一新しました。一人ひとり好きなオモチャや遊びを見つけて、お気に入りの空間で遊びます。今、子どもたちのマイブームは、スリッパ! 上手に履いてパタパタ歩きまわっています。





この夏、菜園で採れたトマト・じゃがいも・きゅうり
 ゴーヤ・かぼちゃは全部で約30kg。毎日のように畑
 をのぞいては「トマトあったよ」の声。採りたてをガブ
 リとほおぼったり、「とれたよ～」と自慢げに調理室へ
 運んだり収穫を
 楽しみました。



じゃがいも
 掘ったぞう



今年、初めて植えた坊ちゃんかぼちゃ…
 苗を買ってきた日、Nちゃんのおしりで“骨
 折”。その危機を乗り越えて7個のかわいいか
 ぼちゃを採りました。

後日、収穫祭では子どもたちの前に『パンプ
 キンプリン』に変身して登場し、器までも食べ
 られるおやつに歓声が上がりました。

緑のカーテン…エピローグ

今年、初めて植えたゴーヤは、強い西日を遮る見
 事な緑のカーテンに成長しました。子どもたちも日
 に日に大きくなるゴーヤ
 を指差し「見て見て～」
 と歓声をあげます。

収穫したゴーヤは十
 数本。調理している様
 子を食い入るように見
 ていたNちゃんにひと
 切れあげると、お顔を
 “ニガ”と言っていま
 した。



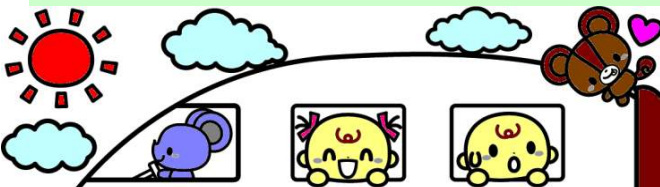
里親研修会

～運動会でふれあい体験～

里親研修会が、1日当院で開かれ、里親希望の
 6組12人が参加しました。

当日、参加者は運動会で用具係などを担当しな
 がら、かわいい子どもの姿に大きな声援を送って
 いました。フィナーレのダンスでは心地よい汗を
 流し、午後からは写真立て作りや買い物ごっこで
 子どもたちとふれあい体験をしました。

秋田市から参加した加藤さんは「緊張した。子
 どもたちが、自分を
 受け入れてくれる
 か心配したが職員
 の様子を見ていて
 自然体でいいんだ
 など感じた」と話
 してくれました。



乳児院公開講座「らくらく子育て」

・乳幼児の健全な発達を目指して、胎児期
 からの関わり方を学びます。

講師 北翔会札幌あゆみの園

小児科医 加藤静恵 先生

日時 11月15日(火)1時～3時

場所 秋田赤十字乳児院

おしらせ

編集後記

去年、初めて乳児院の運動会に参加してから一年
 が過ぎました。ハイハイしていた子ども、今年はかけ
 っこ競争。一生懸命、前に進もうとする子どもの姿
 を目の当たりにした二年目の運動会。子どもたちと
 過ごすイマが何より嬉しい毎日です。 (赤次)